

志太教育研究集会 自然体験サポート報告 8月9日(火) 元井戸

瀬戸川フォーラムは、志太教育協議会の依頼を受け「教育研究集会」(生活科部会)の自然体験研究のコーディネートをしました。

当日は志太地区3市2町の小学校の1,2年生担当の先生方約80人が参加して「川の楽しさと安全管理について」研修が実施さ



講師紹介



島田土木事務所 やさしい川のお話



しずおか流域ネットワーク 安全管理のお話

れました。講師には瀬戸川フォーラムのメンバーでもある「しずおか流域ネットワーク」の安藤さんや鈴木さんの川のインストラクターや島田土木事務所職員の方々に行って頂きました。先生方は「子どもたちの水難事項を防ごう」といろいろなプログラムに取り組んで自らがまず川の楽しさや危険な箇所

を体験しました。川のインストラクターの鈴木さんからは、最近の静岡市内で発生した事故の実例を挙げ、安全対策の重



元井戸 学習

要性を説明しました。参加者はグループ毎に分かれて危険予知(川の発見カード)を行い、滑る場所や深い場所などの危険箇所をチェックしました。



インタプリテーション(山田辰美代表)

また、この地域の宝物でもある瀬戸川の伏流水の湧出している「元井戸」の云われ

や守る活動の意義などを「瀬戸川フォーラム」代表の山田辰美(富士常葉大学環境防災学部教授)よりインタプリテーションを行いました。

瀬戸川フォーラムでは、先生方に今日の研修の成果を子どもたちに伝え



ていただき、子どもたちが安全で楽しい川との関わりが出来ることを願っています。

瀬戸川通信 第20号

発行 瀬戸川フォーラム 平成17年 9月24日



瀬戸川 藤枝市宮原

せと川 里の楽校 2005夏の子どもキャンプ 開催

NPO法人里の楽校(協力団体:瀬戸川フォーラムほか)は、「せと川里の楽校2005夏の子どもキャンプ」がにの毛(誇りに思うこと!)」を8月4日~7日までの4日間、藤枝市宮原、助宗、滝沢、本郷地区で小学生60名、スタッフ16名、学生リーダー35名、ジュニアリーダー6名、ボランティア30名の総勢147名を集めて「河川とその流域の豊かな自然と文化にたっぷり子ども達を浸し、たくさんの里体験や交流を通じて、逞しく感性豊かな子どもの育成を目指すこと」をねらいとして行いました。

このキャンプも今年で7回目となりますがリーダーも多く、毎年テーマを決めてストーリーを作っていくため準備に時間も掛かり学生スタッフも眠れない日々がキャンプ中も続



里の楽校 夏キャンプ開校式

きます。しかし、最後の日のこどもたちの笑顔や涙を見るとスタッフもやりごたえがあります。ボランティアの保護者の方も年々増えてきており、少し離れてキャンプの様子を見ながら食事やお風呂などの準備に一生鶏鳴動いてくれています。キャンプの閉校式の少し成長した子どもの発表姿を見て涙々で一番感動してくれたようです。

今年も恒例のあげんたいは、瀬戸谷地区の「生き生きフォーラム」が主催している「せとや夏祭り」にボランティア協力をを行い、地域の人々と共同で行いました。いつもの河原ではなく、本郷の「藤の瀬会館野外広場」に3本のとうろうを立てましたが、広場の大きさが狭く少し窮屈な配置となってしまいました。今回のあげんたいづ



滝之谷川 不動峡 リバートレッキング

くりの指導をしていただいたのは、藤太夫島組の方々に竹取から一緒に行ってもらいました。いつも作る方法と少し違いもあり村によって伝承された技術の違いがあるのに驚きました。

あげんたいづくり



協賛各社

- 黒川医院 菅ヶ谷内科医院
- 青島歯科医院 (株) 松浦恒産
- 岡歯科医院 小柳津久男事務所
- (有) 桑原モータース
- 佐野設計工房一級建築事務所
- 服部歯科医院音羽町診療所
- (株) エクノスワタナベ
- (株) 山田組 大鐘測量設計 (株)

瀬戸川フォーラム ネットワーク団体

- しずおか流域ネットワーク/志太自然ネットワーク
- 森林組合あおいがわ/静岡県島田土木事務所
- 瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合/ふるさと建設の会
- 大井川流域ネットワーク/水土里ネット大井川/志太エコクリエイト
- NPO法人 VIT/NPO法人 里の楽校/(社) 藤枝法人会

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/
瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦
島田市中央町31-10 TEL0547-36-0706

瀬戸川清掃 エコマネー「どんぐり」が大活躍！

今年も「私たちの川、海岸をきれいにしよう！」と河川海岸美化運動が県内各河川で展開された。瀬戸川フォーラムでは、毎年、藤枝市の勝草橋の上流の清掃活動に参加協力（なるほど講座）をしています。

5月29日に行われた清掃活動には、市民約200人が集まり（フォーラムでは富士常葉大学の学生を中心に30名参加）川に流れ着いたゴミや投棄されたペットボトルなどを拾い集



めました。集められたゴミの特徴としてはプラスチック系のゴミは少なく金属片が多かったようです。

ごみ拾い終了後の集いに当日、焼津市からお手伝いに来てくれた環境保全グループの「やいづエコ999倶楽部」の代表である福井さんより瀬戸川下流のゴミの現状についてパネルを使ってお話をして頂きました。「こんなにもたくさんの方々が熱心に清掃活動に参加しているのを見て下流域に住む者としてありがたく思います。雨が降るたびにたくさんのゴミが下流に流れてきて困っています。流域全体でゴミのない瀬戸川にしましょう」と呼び掛けられていました。

参加してくれた市民には焼津漁協さんが



瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめ、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。

用意してくれた上流の山の恵みでもある海の幸「シラス」と瀬戸川フォーラムの用意した「どんぐり」を手渡しして感謝の気持ちを伝えました。



瀬戸川 河口域でゴミ拾い 上下流の連携始まる！

焼津地域のクリーン作戦は、上流である藤枝市のゴミ拾いにお手伝いに来てくれた「やいづエコ999倶楽部」の主催で6月11日（土）に行われました。「やいづエコ999倶楽部」（福井立子代表）は焼津環境市民会議のメンバーが立ち上げた団体で焼津市環境基本計画の推進を図るために、行政、事業所と協働して



「次世代のために、いま手の届くことから始めよう」を合い言葉に、学習や実践に取り組んでいる市民グループです。

昨年に続いて「瀬戸川ゴミ拾い隊」を結成して河口域のゴミ拾いを行ってくれました。近隣の自治会、事業所、「瀬戸川を愛する会」（第6自治会）など60名近くの人たちが参加をしてくれました。

「瀬戸川フォーラム」も少人数でしたが、「エコマネーどんぐり」を持って参加しました。上流域よりも遙かにごみの量は多く持って上流域の人たちも参加すべきだと感じました。

「どんぐり」を手渡しして感謝の気持ちを伝えました。

今回拾ったゴミの量は、

アルミ缶	9 kg
スチール缶	5 kg
金属屑	2.9 kg
ガラス瓶	1.5 kg
可燃ゴミ（ペットボトルを含む）	430 kg
この他に	タイヤ 9本、テレビ 1台などでした。

残念なことに、せっかくきれいにした河原も、一旦海に流れていたゴミが満ち潮によって押し戻されて、一週間も経つとほぼ同じくらいの量のゴミがまた溜まってしまいます。

やいづエコ999倶楽部では、これからも「ゴミを出さない、捨てない」方向に向けて活動して行きたいと考えております。（やいづエコ999倶楽部HP <http://www15.ocn.ne.jp/%7Ecitizen/>より）

